

V. 教育の実施体制

1. 教員組織

(1) 教員数・構成 (2014年5月1日現在)

1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ()内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理工学	4	2	1	0	7	7 (3)	0	0	
国際文化学科	5	2	3	1	11	7 (3)	0	0	
学科外所属						4 (2)	0	0	
合計	9	4	4	1	18	18 (8)	0	0	

* 設置基準で定める教員数(合計)欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数(第22条別表第1のロ)を記載している

2) 専任教員年齢構成

区分	専任教員(助教以上)年齢構成							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢		
両学科 合計 18人	0	6	4	3	4	1	50.4		

3) 専任教員名簿

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日	
学長	神山 高行	93.4.1	93.4.1	14.4.1	
情報処理工学	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	93.4.1	14.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	94.4.1	14.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1	14.4.1
	教授	八尋 剛規	92.4.1	92.4.1	14.4.1
	准教授	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1	14.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	92.4.1	12.4.1
	講師	原田 慎吾	13.4.1	13.4.1	14.4.1
国際文化学科	主任・教授	林 大仁	11.4.1	11.4.1	14.4.1
	教授	神山 高行	93.4.1	93.4.1	14.4.1
	教授	亀田 俊隆	12.4.1	12.4.1	14.4.1
	教授	藤本 幸男	12.4.1	12.4.1	14.4.1
	教授	真下 仁	90.4.1	90.4.1	12.4.1
	准教授	ウェア ジーン リー	12.4.1	12.4.1	14.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	07.4.1	11.4.1
	講師	岡本 武志	12.4.1	12.4.1	14.4.1
	講師	北濱 幹士	04.10.1	04.10.1	12.4.1
	講師	松本 知子	13.4.1	13.4.1	14.4.1
	助教	柏木 翔	13.4.1	13.4.1	14.4.1

(2) 教員の授業担当数 (2014 年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1 週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教
情報処理学科	49.8	6.3	5.9	7.6	5.0	
国際文化学科	34.2	6.7	5.2	9.5	6.7	4.9
計	84	4.7	5.5	8.6	6.3	4.9

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目・補助科目	9
情報処理学科専門科目	1
国際文化学科専門科目	14.2
計	24.2

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m² (登記簿謄本上面積)
- ・建物面積 11,605.01 m² (登記簿謄本上面積)
- ・建物別・用途別面積 (学校基本調査上面積) (単位: m²)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,401.56	1,211.07	-	-	-	-	-	-	-	2,612.63
演習室	-	688.89	-	-	-	-	-	-	-	688.89
実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究室	349.79	233.10	-	-	-	-	-	-	-	582.89
管理関係その他	1,888.86	1,233.94	189.14	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,529.68
学生会館	226.24	-	1,030.86	-	-	-	-	-	-	1,257.10
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	95.62	-	-	-	-	-	-	-	-	95.62
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	1302 教室	特に無し
		1303 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1306 教室	特に無し
		1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
	4階	1401 教室	特に無し
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	特に無し
	5階	視聴覚教室	特に無し
LL 教室		特に無し	
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 21 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
	4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有
	5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
2502 教室		プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD、VHS、MD 有 (別付けデッキ)	

(3) 整備状況

※ (1 件につき 10 万円以上の設備・工事)

1) 設備

a. 福岡東海キャンパス教育支援システム導入

本学の教育支援システムはリース物件で対応しているが、リース期間満了後は再リースで対応している。2012 年度に福岡地区教育機関連絡協議会が発足し、その事業を推進していく中で、福岡東海キャンパス(本学と付属第五高校及び付属自由ヶ丘幼稚園 3 教育機関の総称)共通の教育支援システムとして更新し運用していくこととなった。リース内容は、高速 LAN、教育系クライアント、Web 履修個別教育支援、情報教育、自学自習教育、マルチメディア教育システムを統合して設定した。

b. 移動用プロジェクター導入

行事などで使用する移動プロジェクターが古くなったので購入した。事務室管理とし、貸し出せる

ようにした。

導入機器：スリムプロジェクター（0XJ-A257） カシオ計算機株式会社

c. デジタルサイネージ（電子掲示板）

1号館玄関内の電子掲示板が故障により長らく稼動していなかったため、学生が掲示板を確認できるように、2014年度卒業生から寄贈の申し入れがあり、導入していただいた。

導入機器：デジタルハイビジョン液晶テレビ（BRAVIA W900B 42型） ソニー

d. 厨房機器の修繕及び導入

2014年度に食堂業者が変更になり、本学生のほか付属第五高校の生徒も受け入れることとなった。食数が増加したため、これまで使用してきた厨房機器だけでは賄えないので、使用していなかった厨房機器の修理とフライヤーを新規購入した。

2) 施設

a. 部室外部修繕工事

部室は1997年度に竣工後17年を経過しており、鉄骨の錆や腐食が目立つようになってきた。学生厚生施設として危険であるので、強度を保つよう塗装を施した。

b. 福岡東海キャンパス案内板設置

福岡東海キャンパス内には案内看板がほとんどなく、外部来訪者にも分かり易い案内板の設置が急務となった。福岡地区教育機関連絡協議会の施設共同利用プロジェクトで協議され、実施に至った。

3. メディア情報環境

(1) 図書館

1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

2014年度 図書館の概要

床面積	855,00m ²
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	190人
座席数	103席
蔵書数	77,080冊
視聴覚資料	2,590点
予算	2,633,000円
開館時間（通常 月～金）	10：00～18：00
開館時間（通常 土）	10：00～16：00
開館日数	259日
入館者数	13,917人
一日平均入館者数	53人
学生貸出冊数	941冊
学生一人当たり貸出冊数	5冊
外部貸出冊数	62冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
71,004 冊	6,076 冊	77,080 冊

2014 年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購 入	608 冊	47 冊	655 冊
寄 贈	5 冊	0	5 冊
視聴覚	12	0	12
合 計	625 冊	47 冊	672 冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
442 種	56 種	498 種

2014 年度受入雑誌種数

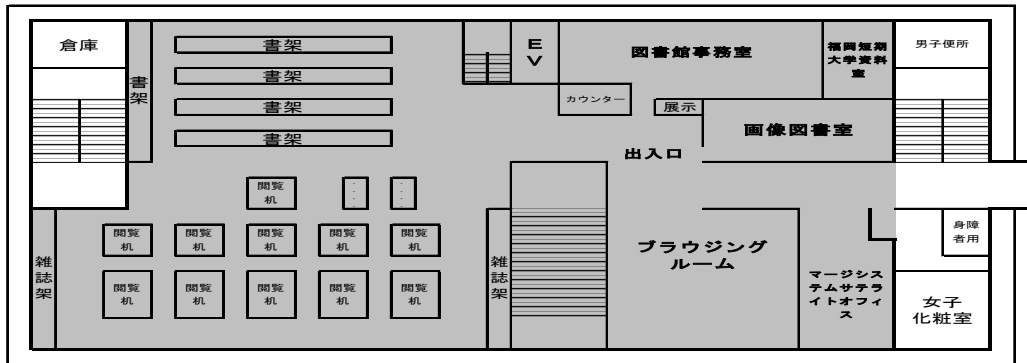
和雑誌	洋雑誌	合計
231 種	5 種	236 種

視聴覚資料総数

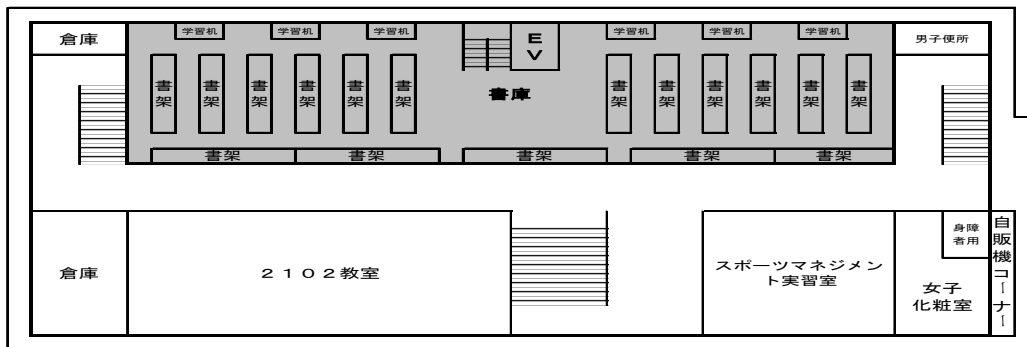
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	388	565	128

また、全体配置図は以下のとおりである。

フロアガイド



2 号館 2 階



2 号館 1 階

2 号館入口

a. 機器設備の配置状況

図書館は本学2号館の1階と2階に配置されている(上記表及び図参照)。まず、閲覧室には、図書・図書資料が配架されており、規定分類に基づく書庫のほか、新着図書や学科推奨図書は2階閲覧機のそばに専用の書架を設置して、学生の利便性向上を図っている。なお、専用書架に配架された図書・図書資料については、古くなったものや優先度が低くなったものから随時書庫に移動している。そのほか、閲覧室2階には大型のテーブルと視聴覚資料視聴用(ヘッドホン必須)の座席、1階には個人学習用の座席が用意されている。

画像図書室は、学生による主体的なグループ学習に適したテーブル配置と、ホワイトボード、大型TV・レコーダーなどを備える多目的ルームである。利用には事前の申し込みが必要であるが、軽食を許可するなど、閲覧室よりも自由な学習環境として、多くの学生に受け入れられている。また、個人所有もしくは図書館で所蔵する視聴覚資料を閲覧する場合にも広く利用されている。

ブラウジングルームは、円形座席やソファ、個人学習用座席を備え、飲食・雑談可能なスペースとして学生に原則開放しており、その利用率も高い。

その他の設備として、コピー機1台があり、学生は法律に反しない範囲において、図書・図書資料の複写が可能である。パソコンは、事務用3台のほか、利用者の図書検作用として1台を学生に常時開放しており、いずれも学内LANに接続している。そのほか、個人所有のノートPCやスマートデバイスから利用できる無線LANアクセス環境を全館に整備し、インターネットを利用した学習促進を図っている。

b. 図書館システムと情報化

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学が運用する図書館情報システム(iLiswave:TIME)を、東海大学中央図書館とのインターネットVPN接続を介して利用している。なお、蔵書検索にはOPACを用いている。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに40,277件(52.3%)完了している。また、図書館Webページを公開しており、開館情報の確認や図書検索が行えるようにしている。

c. 図書の購入・廃棄

2014年度の図書予算は2,633,000円であり、内、図書費・図書資料費は2,262,000円である。図書の購入は、教職員の希望、学生の希望を優先しながら、適宜、ウィークリー出版情報等の図書カタログから図書館職員が選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、図書館館長の承認を得て購入している。また、資格関連の図書は毎年内容が更新されることから、教員からの希望を踏まえながら、定期的な購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、図書館館長より所定の手続を経て、学長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって3年を経過したもの
- (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
- (3) 資料価値を失ったもの
- (4) その他図書館館長が除籍を適当と認めたもの

除籍・抹消した資料については、所定の手続により破棄する。

d. 図書館の運営

図書館の運営を担うスタッフは、図書館館長(教員)、臨時職員1名、常勤職員1名、学生スタッフ6名(学内公募)から構成される。なお、常勤職員は進路支援業務と兼務しているため、臨時職員と学生スタッフが図書館における日常業務の軸となる。また、図書館の運営方針については、図書館運営委員会(図書館長を含む教職員4名から構成)において審議・検討がなされる。

e. 学生の利用促進への取組み

全学生に毎年配布しているキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しているほか、入学時オリエンテーション及び全体ガイダンスにおいて、図書館の概要と基本的な利用方法を案内している。また、1年生を対象としたフレッシュマンゼミナールにおいて、短大での学修活動に図書館をどのように

活かすか、レポート制作や文献調査活動を通じた実践的な指導を行っている。これらのほか、図書・図書資料リクエストを始めとした利用者の要望を聴く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

f. 他大学、地域との連携

本学は、国立情報学研究所（NACSIS）に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取り組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2014年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
10	4	0	0

g. 学生の利用状況

学生の利用頻度は、2014年度総入館者数 13,917 人（前年度 10,220 人）、画像図書室利用総数 825 人（前年度 144 人）、貸出冊総数 941 冊（前年度 961 冊）となっており、入館者数、特に画像図書室の利用者数が大きく増加している。画像図書室は 2013 年度末に更新したということもあり、その内容が学生に広く受け入れられた証左であろうと考えている。

図書閲覧室の利用時期については、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1 割程度の利用であり、特に夏期・春期休暇中の利用者はほとんどない。一方、ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

2) 現状の問題点と改善に向けての取り組み

近年続いていた入館者数の減少傾向に歯止めがかかった点は喜ばしいが、利用する学生が一部の層に限られているという状況に変わりはない。さらに図書館の利用を広げ、その学習効果を高めていくためには、多様化が進む学生の学修スタイルに合致した図書館像を確立していくことが肝要である。

今後、画像図書室やブラウジングルームを所謂ラーニングコモンズに近い運用・構成としていくほか、限られた予算を特定分野の図書・図書資料購入のために集中投下することによって、本学図書館ならではの魅力を高めていくことを具体的に検討している。また、デジタル教材や電子書籍の導入についても積極的に取り組んでいきたいと考えている。

そのほか、授業関連図書について、その利用時期が集中することにより、学生が希望する図書を閲覧・貸し出しできないケースも少なくない。複数冊導入の要望も寄せられるが、本来、同一書籍をあまりに多く備えることは望ましくないと考えており、授業に必須の図書であれば、教科書等として受講生に購入させるといった指導を授業担当教員に要望していきたいと考えている。

(2) コンピュータ実習室

1) 概要

2014年度は、基幹スイッチの一部、サーバ、クライアントの大規模更新を行った。

サーバはブレード型サーバを導入し、さらに仮想化技術を用いてシステムの可用性・信頼性を向上させた。

実習用 PC（学生用のみ・教員用除く）は、第 1 実習室（50 台）、第 2 実習室（30 台）、第 3 実習室（24 台）、第 5 実習室（8 台）設置した。第 3 実習室は一部の PC をマルチモニター形式とし利便性を図った。また、第 5 実習室は、他の部屋よりも高性能な PC 構成とし、液晶タブレットも利用でき、マルチメデ

ィア関係の実習が行えるようにしている。

2) 業務内容

a. コンピュータ実習室管理

教育システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当教員を中心に委託業者を加え作業を行った。

b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前9時から午後7時まで開館している。午後5時以降の業務は主に学生スタッフ（学生アルバイト）で対応した。

5つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Officeをはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。

c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向けかわら版 Web ページ(<http://cms.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学生ポータル Web ページ(<http://home.ftokai-u.ac.jp/>)
- 業務ポータル Web ページ (<http://info.ftokai-u.ac.jp/info/>)
- ケータイ向け Web ページ(<http://m.ftokai-u.ac.jp/>)

学生ポータル Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

d. 維持管理

情報システム室のホスト室には物理的なサーバが6台(2014年度新設)及び6台(従来から継続運用)設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを24時間体制で監視・維持している。

e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

f. 各種情報のオンライン化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

g. 福岡キャンパス各組織（附属第五高校、附属自由ヶ丘幼稚園）の支援活動

同一キャンパス内に設置されている附属第五高等学校、附属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

3) ネットワーク構成

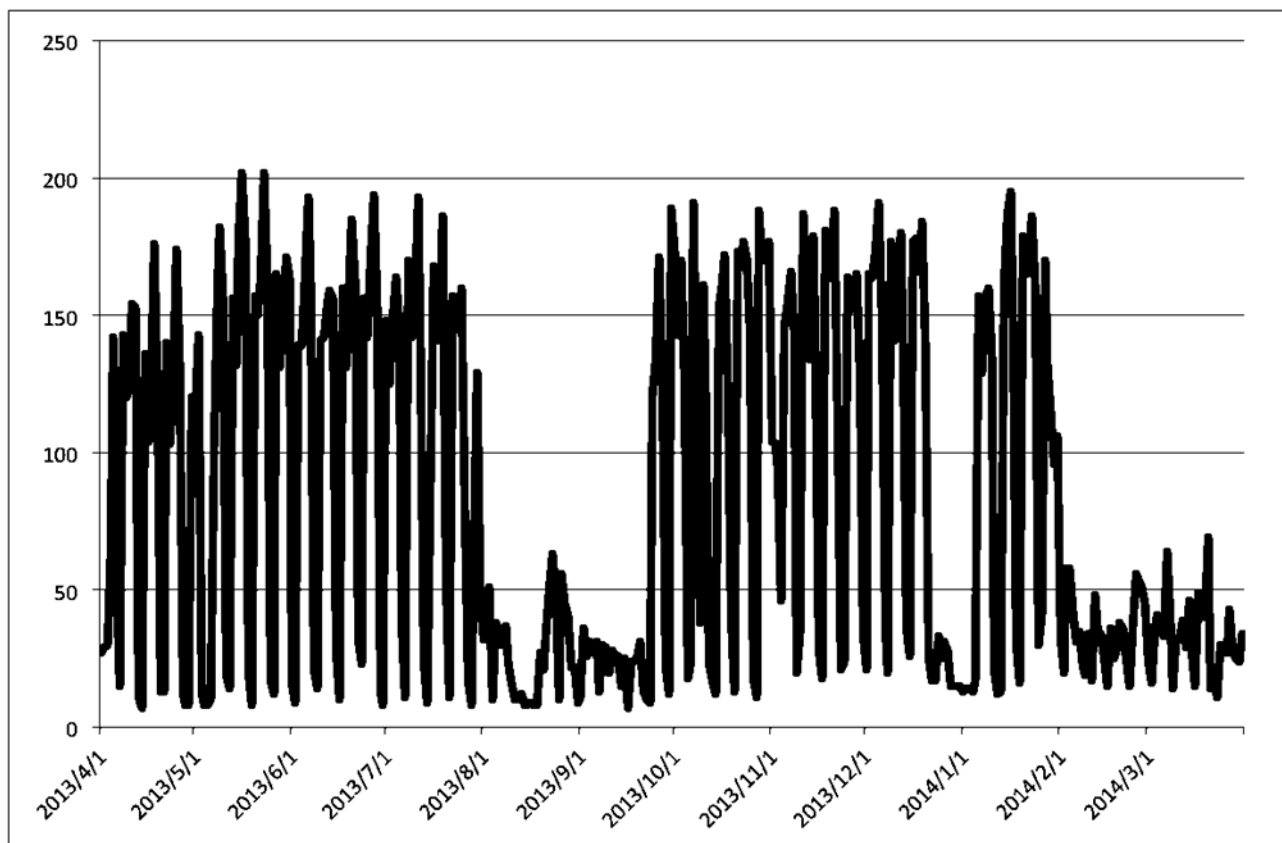
a. 学内 LAN

基幹 LAN は 20Gbps、また、各教室、研究室は最大 1 Gbps の LAN を提供している。

b. 無線 LAN

アクセスポイントは教職員・学生に開放している。個人所有の無線端末機器の接続も許可している。このため接続クライアント数が在籍学生数を上回っている。

設置アクセスポイント数	39 か所
接続クライアント数	548 端末 (前年比 114%)



日別接続数の推移 (2014 年度)

c. 対外接続

本学の対外接続は SINET 200Mbps, SuperOCN 3Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツを利用し安価に高速回線を確認できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 3Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。